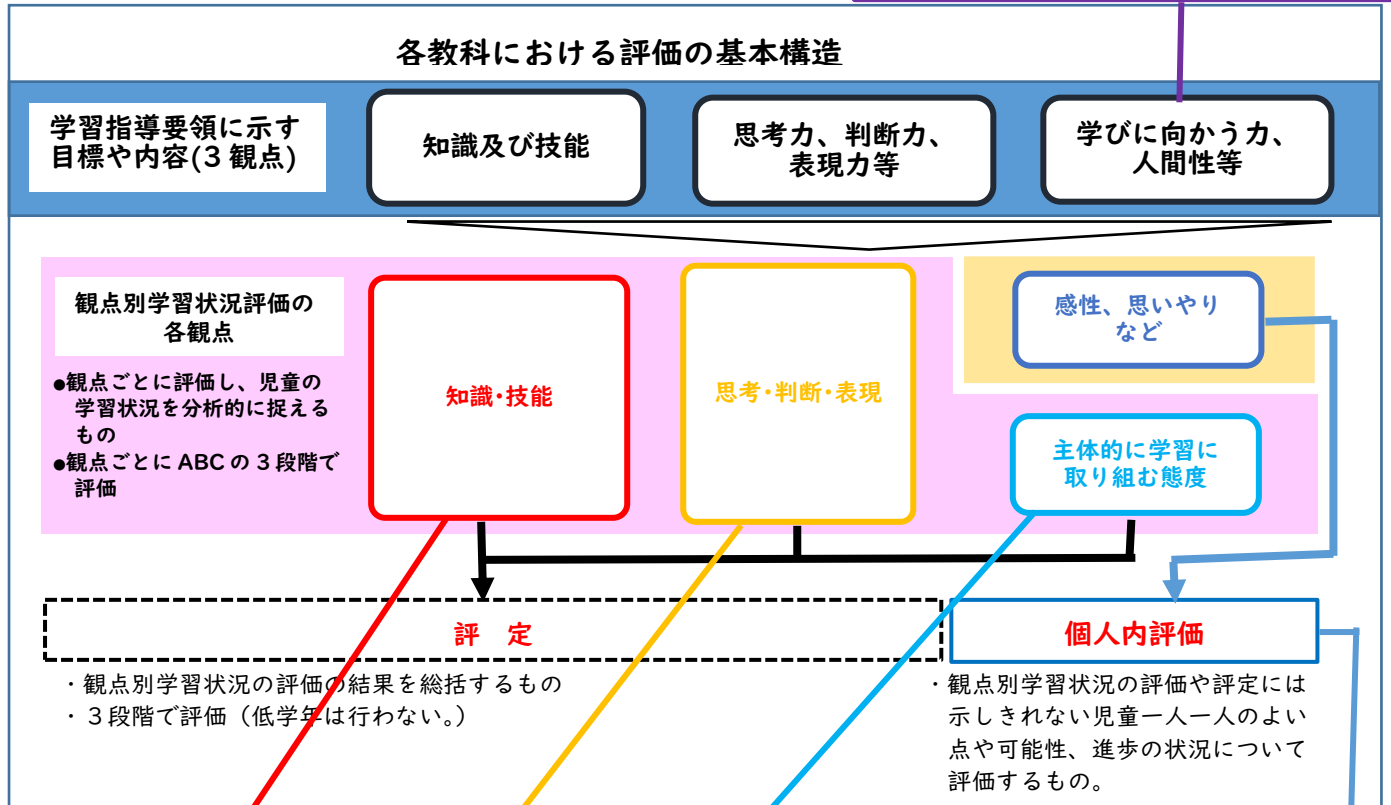


昨年度から変更となったあゆみの評価について

平成 29 年改訂で、**学習指導要領の目標及び内容が**
資質・能力の三つの柱で再整理されたことを踏まえ、
 各教科における観点、別学習状況の評価の観点については、
「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」
 の **3 観点**に整理されています。

「学びに向かう力、人間性等」には①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別評価（学習状況を分析的に捉える）を通じて見取ることができる部分と②観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分があります。



各教科等における学習の過程を過した知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかを評価します。

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な**思考力、判断力、表現力等**を身に付けているかどうかを評価します。

知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

個人内評価の対象となるものについては、児童が学習したことの意味や価値を実感できるよう、日々の教育活動等の中で児童に伝えることが重要です。特に、「学びに向かう力、人間性等」のうち「**感性や思いやり**」など**児童一人一人のよい点や可能性、進歩の状況などを積極的に評価**し児童に伝えるように配慮して評価します。

知識及び技能

テスト…事実に知識の習得
 知的概念の理解問題
 文章による説明をする技能
 式、グラフ等を活用し表現
 実験や観察の理解と説明等
 漢字や計算等基本的な知識
 運動や演奏など、基礎技能
 これまでの「知識・理解」と
 「技能」において評価されてきた部分の評価が主となる。

思考力、判断力・表現力等

ペーパーテストによる評価
 感想文・観察文・説明文作成
 や発表、集団での話し合い、
 作品制作や表現等の多様な活
 動の様子、また、それらを集
 めたポートフォリオの活用
 等、各教科や各学年の系統
 性に応じた内容。従前の「思
 考・判断・表現」において評
 価されてきた部分が主。

学びに向かう力、人間性等

ノートや各種書いた物等における記述内容、授業中の発言状況、教師による行動観察、児童による自己評価や相互評価等の状況を、評価を実施する際に、考慮する材料として用いる。
 各教科の特性に応じて、児童の発達段階や各自の個性を十分に配慮しながら、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で、評価を行う。①粘り強く取組を行おうとする側面と②自ら学習を調整しようとする側面の両面から評価する。